
2006 年度後期
「魅力ある大学院教育」イニシアティブに関する
アンケート調査

奈良女子大学大学院では、文部科学省によって推進されている「魅力ある大学院教育」イニシアティブとして選定された教育プログラムを平成 17 年度から実施しております。みなさまには一度、前期（7 月）にアンケートをお願いしたところですが、このたびまた、それ以降の取り組みについて、当該 4 専攻の大学院生の率直な感想や意見をお尋ねするために、アンケート調査を行うこととしました。

このアンケートは、今後の教育プログラムのあり方を検討する資料としてのみ用い、他の目的で使用することはありませんので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。皆様には、アンケートの趣旨をご理解いただき、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この調査票に回答をご記入されましたら、学務課大学院係（F 棟 2 階）に設置された回収ボックスに 1 月 31 日（水）までにお返しくくださるようお願い申し上げます。

平成 19 年 1 月

奈良女子大学大学院人間文化研究科
教育プログラム推進委員会

連絡先：大学院教育推進支援室
TEL/FAX 0742-20-3253

問 1 あなたが所属する専攻と学年について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

(1) 専攻

- | |
|---|
| 1. 国際社会文化学専攻（博士前期課程）
2. 人間行動科学専攻（博士前期課程）
3. 人間環境学専攻（博士前期課程）
4. 社会生活環境学専攻（博士後期課程） |
|---|

(2) 学年

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 博士前期 1 回生 | 3. 博士後期 1 回生 |
| 2. 博士前期 2 回生（2 回生以上も含む） | 4. 博士後期 2 回生 |
| | 5. 博士後期 3 回生（3 回生以上も含む） |

問2 あなたの研究についてお尋ねします。

- (1) 現在行っている研究はどのようなものですか。以下に示すそれぞれの特性について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. 理論的研究
2. 調査・インタビュー・実験を用いる研究
3. 二次資料・史料の収集や整理を伴う研究
4. 生活環境の課題の発見に関する研究
5. 生活環境の課題の解決を目指す研究
6. 生活の場における実践（生活環境など）に応用する研究
7. 社会における実践（政策など）に応用する研究
8. どれにもあてはまらない

↓

どのような研究かを具体的に _____

- (2) 現時点における研究の状況は、以下に示す【A】・【B】どちらに近いと感じますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	【A】 ↓	【A】 にあてはまる	やや 【A】 に近い	やや 【B】 に近い	【B】 にあてはまる	
研究テーマ・内容が明確である		1	2	3	4	研究テーマ・内容は、まだ明確には決まっていない
研究の独自性（オリジナリティ）を意識しながら、研究を行っている		1	2	3	4	独自性（オリジナリティ）は意識せずに、研究を行っている
研究の計画が具体的に定まっている		1	2	3	4	研究の計画は、まだ具体的には定まっていない
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている		1	2	3	4	研究を行うときには、教員や先輩研究者の指示に頼っている
他者（学内の教員・先輩研究者）に意見をもらう機会を、自分で作る		1	2	3	4	意見をもらう機会是他者が設定してくれる
学外の研究者と積極的に交流している		1	2	3	4	学外の研究者との交流は少ない

問3 今年度に大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

※人間環境学・国際社会文化学・人間行動科学・社会生活環境学の4専攻で2006年度の後期に開講している授業は、「専門基礎群」「専門応用群」「研究マネジメント群」「キャリア形成群」に分かれています。各群に対応する科目名は【添付資料】を参照してください。また、4専攻以外の授業はのぞいてお考えください。

- (1) 「**専門基礎群**」に含まれる科目のうち、今年度後期にあなたはいくつ履修しましたか。履修した科目の数をご記入ください。

科目

- (2) その中で、今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

1. ある 2. ない 3. 専門基礎群の科目は履修していない

- (3) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、役立たないと思う科目がありましたか。

1. ある 2. ない 3. 専門基礎群の科目は履修していない

- (4) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、「**専門基礎群**」の科目がどのような点で役立つか、または役立たないか（不足している点など）について、具体的にご記入ください。

- (5) 「専門応用群」に含まれる科目のうち、今年度後期にあなたはいくつ履修しましたか。履修した科目の数をご記入ください。

科目

- (6) その中で、今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

1. ある 2. ない 3. 専門応用群の科目は履修していない

- (7) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、役立たないと思う科目がありましたか。

1. ある 2. ない 3. 専門応用群の科目は履修していない

- (8) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、「専門応用群」の科目がどのような点で役立つか、または役立たないか（不足している点など）について、具体的にご記入ください。

- (9) 開講している「専門基礎群」「専門応用群」の科目につきまして、その他のご要望やご意見がありましたら、自由にご記入ください。（科目の構成、科目の内容など）

問4 今年度から「研究マネジメント群」「キャリア形成群」として開講されている科目についてお尋ねします。(※各群に対応する科目名は別紙を参照してください)

(1) 以下に示すそれぞれの科目は、今後あなたが研究をすすめるにあたって、どの程度役に立つと思われますか。

※その科目を履修していない場合は、右端の「5」に○をつけてください

	大いに役立つ	少しは役立つ	あまり役立たない	ほとんど役立たない	履修しなかった
(a) 学術基礎英語	1	2	3	4	5
(b) 学術プレゼンテーション演習	1	2	3	4	5

(2) 今後あなたが研究をすすめるにあたって、これら(a)・(b)の科目がどのような点で役立つか、または役立たないか(不足している点など)について、具体的にご記入ください。

※これらの科目をひとつも履修していない場合は、次の(3)に進んでください

(3) 博士後期課程で開講されている下記の科目についてうかがいます。

- ・ 学術交流英語
- ・ 研究プロジェクト演習
- ・ 研究プロポーザル演習
- ・ グローバル社会における女性研究者
- ・ 大学院教員教職実習

これらの科目が、今後あなたが研究をすすめるにあたって、どのような点で役立つか、または役立たないか（不足している点など）を、具体的にご記入ください。

※これらの科目をひとつも履修していない場合は、次の（4）に進んでください

--

(4) 「研究マネジメント群」「キャリア形成群」の科目につきまして、その他、ご要望やご意見がありましたら、自由にご記入ください。（時間数、科目の種類など）

--

問5 「魅力ある大学院教育イニシアティブ」事業の一環として、今年度7月から行われた研究支援企画についてお尋ねします。

(1) 院生自主企画による研究セミナーとして、以下の3つが開催されました。

- ・「シルクロードのひとびと～新疆ウイグルにおけるオアシスの生活と文化～」
〔2006年9月30日 講演者：堀直（甲南大学文学部教授）・中川裕美（民族衣装研究家）〕
- ・「ドイツの創造的都市縮小政策」〔2006年10月28日 講師：坂本英之（金沢美術工芸大学教授）〕
- ・「障害と家族 ―障害児とともに歩む家族の変容―」〔2006年11月25日 講師：加藤登美子（大阪堺ろう学校）・島田栄子（ろうの大学生をもつお母さん）・滝本希代美（大阪AD/HDサポートグループ「BochixBochi」代表）〕

これらのセミナーのいずれかに参加しましたか。参加した場合、それは今後あなたが研究をすすめるにあたって、どの程度役に立つと思われますか。

1. 参加した	2. どれにも参加しなかった
---------	----------------

↓

1. 大いに役立つ	2. 少しは役立つ
3. あまり役立たない	4. ほとんど役立たない

(2) 大学院教育の改善・向上をめざす企画 (FD 企画) として、以下の 3 つが開催されました。

- ・「奈良女子大学で学問する」〔2006 年 7 月 31 日 報告者：宇佐見香代 (埼玉大学助教授)〕
- ・「FD と院生支援 —アメリカでの経験から—」〔2006 年 10 月 4 日 報告者：菊澤佐江子 (奈良女子大学生生活環境学部講師)・別府春海 (スタンフォード大学名誉教授)〕
- ・「大学院で学んだこと、学ぶべきこと」〔2006 年 12 月 21 日 パネリスト：都築和代 (産業技術総合研究所)〕

これらの企画のいずれかに参加しましたか。参加した場合、それは今後あなたが研究生活を送るにあたって、どの程度役に立つと思われますか。

1. 参加した	2. どれにも参加しなかった
↓	
1. 大いに役立つ	2. 少しは役立つ
3. あまり役立たない	4. ほとんど役立たない

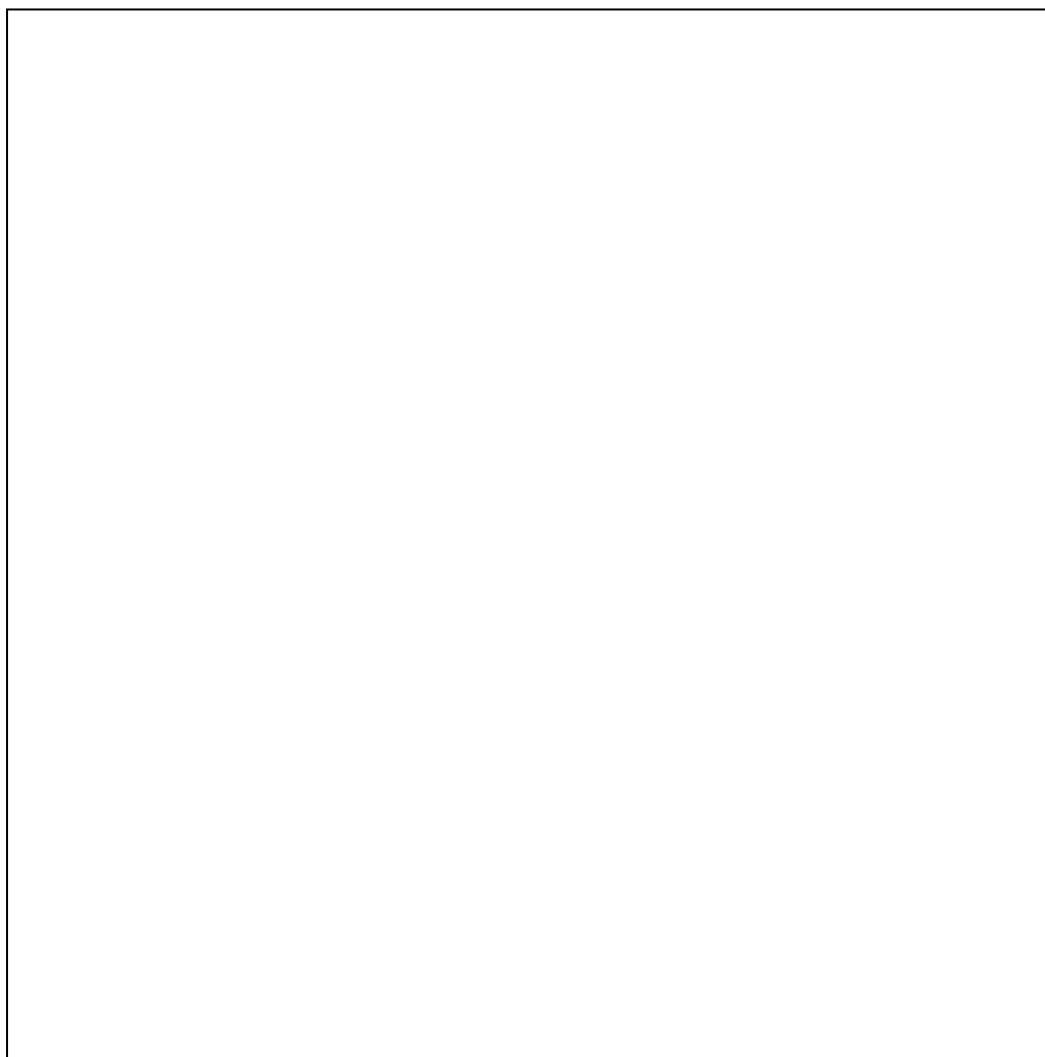
(3) 女性研究者養成・支援講演会として、

- ・「女性研究者を育てる教育環境デザイン —女子大学における課題と展望—」〔2006 年 12 月 3 日 講演者：板東久美子 (内閣府男女共同参画局長)・羽入佐和子 (お茶の水女子大学副学長)〕

が開催されました。この講演会に参加しましたか。参加した場合、それはあなたにとって、どの程度役に立つと思われますか。

1. 参加した	2. どれにも参加しなかった
↓	
1. 大いに役立つ	2. 少しは役立つ
3. あまり役立たない	4. ほとんど役立たない

問6 イニシアティブ事業全般につきまして、ご要望やご意見がありましたら、自由にご記入ください。



以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

この調査票は、学務課大学院係の前にある所定のボックスに提出してください。